

令和6年度 第1回石狩市地場企業等活性化審議会議事録

日 時 令和6年9月24日(火) 14:30～15:30

場 所 石狩市役所 3階 庁議室

出席者 委 員：北山雀会長、鈴木圭一委員、高梨朝靖委員、橋本健太委員、中井寿美子委員、
小山玲子委員、林俊樹委員、玄野展委員

石狩市：市長 加藤 龍幸

事務局 産業振興部 部長 佐々木 一真

商工労働課 課長 大川 実

商工労働課 主査 沼田 慎吾

商工労働課 主任 佐藤 あき

傍聴者 0名

=====

【北山会長】

それでは、お時間となりましたので、令和6年度第1回石狩市地場企業等活性化審議会を開会いたします。議事に先立ち、事務局からお願いします。

【事務局（大川課長）】

私は、産業振興部商工労働課の課長をしております大川でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、はじめに加藤市長よりご挨拶を申し上げます。

【加藤市長】

本日は、大変お忙しい中、今年度第1回目となる石狩市地場企業等活性化審議会にお集まり頂き、誠にありがとうございます。

皆様方には、日頃より本市の行政推進に対し、ご理解、ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

本市では、「地場産財の開発、普及等及び市内における取引関係の強化拡大を促進することにより、地場企業等の活性化を図り、もって市内の産業の高度化及び多様化並びに本市の経済の自立性向上に寄与すること」を目的とした「地場企業等活性化条例」を制定しております。

本審議会は、地場企業等の活性化を図るための諸施策について審議するため、この条例に基づき設置されているものであり、これまで、さまざまな観点からご議論・ご提言をいただいているところです。また、この条例に即した施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、令和4年度に「第5次石狩市地場企業等活性化計画」を策定しました。これまでも本市では、本計画に基づき、様々な施策を講じてまいりましたが、昨今の物価・原油価格の高騰、不安定な世界情勢などにより、市民の暮らしや企業活動に様々な影響が及んでいるところであります。今後とも社会情勢を注視しながら経済活動と地域活性化に向けた事業を展開していきたいと考えております。

なお、本計画のほか、産業振興に関連する「石狩市農業振興計画」「石狩市漁業振興計画」「石狩市観光振興計画」に関しまして、令和4年度に策定しております。これらの4つの計画は、本市の産業振興に密接に関わることから、連携を十分図りながら推進してまいりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

終わりになりますが、本日は「第5次石狩市地場企業等活性化計画」の進捗状況をご報告させていただく内容となっております。皆様方からのご意見などをお願い申し上げて挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

【事務局（大川課長）】

加藤市長ですが、この後他の用務がございますので、ここで退席させていただきます。

【加藤市長】

どうぞよろしくお願いいたします。失礼します。

【事務局（大川課長）】

まず初めに、新たに委嘱されました委員のご紹介をさせていただきます。

石狩市金融協会からご推薦いただきました、林 俊樹（はやし としき）様です。

【林委員】

石狩市金融協会の幹事であり、北海道信用金庫石狩支店長の林でございます。どうぞよろしくお願いいたします。金融協会は毎年幹事が変わっておりまして、昨年までは北洋銀行花川北支店の中野支店長が務めておりまして、当金庫としては4年ぶりの幹事となっております。

不慣れでございますが、皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、一つどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局（大川課長）】

ありがとうございました。

なお、本日の出欠につきましては、石狩商工会議所女性会より選出いただいております相田副会長、北石狩農業協同組合より選出いただいております岩崎委員より欠席のご連絡をいただいております。

続きまして、議事に入る前に議事録の作成方法について確認させていただきます。議事録の作成につきまして、これまでは全文筆記とし、会長が代表で確認後、会長の署名により議事録を確定することとしておりましたが、今回におきましてもこの方法でよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、異議なしとの声をいただきましたので、そのように取扱いさせていただきます。

なお、議事録作成のため録音をしておりますので、ご発言の際は、マイクを使用してお発言いただくよう、よろしくお願いいたします。

それでは、以後の議事進行は、北山会長にお願いいたします。

【北山会長】

それでは本日の議事に入りたいと思います。

本日の議題につきましては、次第のとおり1つでございまして、(1)第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況についてとなっております。

では議題の(1)、第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況について、事務局より説明をお願いします。

【事務局（大川課長）】

商工労働課の大川でございます。

本日は、第5次石狩市地場企業等活性化計画施策方針の推進状況をご報告させていただきます。

なお、第5次計画では、数値目標を定めておりませんので、取組状況のみご説明させていただきます。

はじめに、今年から新たに加わった委員の方もいますことから、「石狩市地場企業等活性化計画」の概要について冒頭簡単にご説明させていただきます。

皆様のお手元にございます「参考資料1：石狩市地場企業等活性化条例」をご覧ください。本計画につきましては当条例に基づき、策定しております。

第1条に目的が明記されておりますが、本条例は、地場産財の開発、普及等及び市内における取引関係の強化拡大を促進することにより、地場企業等の活性化を図り、もって市内の産業の高度化及び多様化並びに本市経済の自立性向上に寄与することを目的に、平成10年3月に制定され、現在の第5次計画は令和4年度から推進しております。

それでは、資料1をご覧ください。

本計画は、「第5期石狩市総合計画における基本施策のうち、産業分野にかかる個別計画として位置づけられ、産業振興に関連する4つの計画との連携、整合性を図りながら推進するものであります。

1ページ目下段をご覧ください。産業振興関連計画として、本計画のほか「農業振興計画」「漁業振興計画」「観光振興計画」の4計画があり、2ページ目中段に記載があります「持続可能な地域を目指す産業の振興」を共通テーマとしております。

続いて18ページから25ページまで、「第3章地場企業等活性化に向けての施策方針」として、4つの施策方針とそれに関連する18の施策が掲載されており、この施策に基づき取り組みを行っているところであります。

次に、資料2をご覧ください。

具体的な取り組み状況の説明の前に、直近10年の「石狩市を取り巻く経済等の概況について」ご説明させていただきます。

まず1ページ目の左上、「人口・世帯数の推移」ですが、人口は年々減少傾向にあるのに対し、世帯数は増加傾向にあり、石狩市に限ったことではありませんが、世帯人員の少人数化が進んでいる状況にあります。具体的には右の「人口動態の推移」をご覧くださいと分かるように、「転入・転出

による社会動態」は増加にありますが、「死亡・出生による自然動態」が減少にあり、社会動態による増加を上回っていることから、人口減の傾向が続いている状況であります。

つづきまして、労働に関してです。左下の「有効求人倍率」ですが、コロナ前は年々上昇傾向にありましたが、コロナ発生直後の令和2年に札幌北で0.87に下がってからは、ほぼ横ばい傾向にあります。しかしながら、少子高齢化等による人材不足の傾向は強く、新規学卒者については、売り手市場が続いている状況にあります。

また、市役所内にハローワーク札幌北と共同で運営しております、「ジョブガイドいしかり」の実績ですが、ハローワークのオンライン化もあり、減少傾向が続いております。

次に2ページ目をご覧ください。「北海道の最低賃金」ですが、皆様もご存じのとおり、右肩上がりで上昇しており、今年の10月からは「1,010円」となることから、企業の負担も大きくなっている状況にあります。

つづいて、石狩の観光についてですが、平成30年の道の駅石狩「あいロード厚田」開業に伴い、250万人を超える入込みがありました。令和2年以降は、コロナの影響もあり大きく落ち込みましたが、年々回復傾向にあります。また、道の駅については、平成30年は開業効果もあり61万人の入込があり、その後も年間約40万人の入込があることから、本市の観光振興のほか、物産振興に大きく寄与しております。

また、これまで石狩市の観光を大きく支えておりました「海水浴場」の入込ですが、全国的な海離れやレジャーの多様化などもあり、大きく減少している傾向になっております。具体的な取り組み状況につきましては、沼田よりご説明させていただきます。

【事務局（沼田主査）】

商工労働課の沼田でございます。よろしくお願いいたします。

ここからは資料3に基づき、取組状況をご説明させていただきます。

それでは1ページ、施策方針の1つ目、「石狩湾新港地域の活性化」として、「(1) 企業誘致の推進」は首都圏を中心とした企業訪問や企業誘致フェアへの出展などを実施し、令和5年度末の新港地域の立地企業数は762社、操業企業数は711社と増加傾向となっております。近年では、スーパーホテルやコストコホールセール、イオンやニトリの物流センターの進出や新たなデータセンターの建設などに加え、今年1月には港湾区域において大規模洋上風力発電所の営業運転の開始もあり、更なる発展が期待されることから、再エネ分野やデータセンター集積の加速等、今後も継続して、これらの取組を実施していく予定でございます。

次に「(2) 事業拡大や継続の促進」については、石狩市地域未来投資促進条例や、先端設備等導入計画の認定等による「設備の新設又は増設に対する」固定資産税の免除等を行うことにより事業拡大の促進を行ってきたほか、石狩湾新港地域への通勤オンデマンド交通の実証運行や軌道系交通システムの導入に関する調査を行い、交通課題への取り組みなどを行ってまいりました。今後も課題の整理や情報収集に努めたいと考えております。

次に2ページ、施策方針の2つ目「地場企業等の経営基盤強化」として、「(1) 情報の提供及び組織等の強化」

①「情報の提供」につきましては、各種支援制度の情報提供を市ホームページ・広報などで実施し

ており、情報を必要とする企業等への有効な配信方法を検討しつつ今後も継続していく予定です。

②「地域経済活性化に向けた支援」につきましては、石狩商工会議所や石狩北商工会が取り組んだ商工業者への経営改善等の指導などに対する支援を行っており、今後も実務担当者との意見交換による情報の共有と連携を引き続き行ってまいります。

次に「(2) 中小企業・小規模企業者への支援」

①「商工会議所及び商工会と連携した支援」につきましては、商工会議所や商工会が行う、経営指導や融資のあっせん等に対し支援を行ってまいりました。引き続き連携し新たな取り組みを検討してまいります。

②「公共工事等の受注機会の確保」につきましては、契約課で行っている、小規模修繕契約希望者登録制度があり、50万円以下の小規模修繕費について、一般の指名業者登録とは別の制度として、建設業の小規模事業者を受注機会を確保する制度があり、今後においても継続していく予定です。

③「競争力強化に向けた支援」につきましては再掲となっております。

次に3ページ、「(3) 金融支援等の強化」につきましては、市の中小企業等特別融資制度の運用、各種融資制度などに係る情報提供を行っており、今後も継続して実施していく予定ですが、実際に融資を受けようとする事業者のニーズ把握が課題として挙げられていますことから、金融機関との意見交換などを行いながら支援策の検討を行ってまいります。

次に、「(4) 人材の育成支援」

①「人材の育成支援」につきましては、高校生の就職率の向上や若手社員の早期離職率の低下を目指すことを目的に、高校生就職支援セミナーや若手スキルアップセミナー、管理職向けの研修を実施しており、一定の需要と効果が見込まれることから、内容を精査したうえで継続の検討を行ってまいります。

②「石狩市季節労働者通年雇用促進協議会との連携」につきましては、商工労働課内に石狩市季節労働者通年雇用促進協議会を設けており、通年雇用に向けての技能習得の支援や通年雇用促進セミナー、合同企業就職説明会などを実施しており、今後も継続して実施予定ですが、季節労働者の減少などもあり、今後の事業内容の見直しも検討してまいります。

次に4ページ、「(5) 労働力確保への支援」

①「労働力確保対策」につきましては、ハローワーク札幌北と連携して市役所2階にジョブガイドいしかりを開設しているほか、シルバー人材センターへの支援や、各種セミナーの開催などを行ってまいりました。また、石狩商工会議所では、大学生と新港企業との企業見学や交流会なども開催しております。その他には、人手不足の解消と地域の活性化を目的に設立された「浜益特定地域づくり事業協同組合」への支援などを行っており、引き続き継続してまいります。

②「通勤に伴う交通アクセスの利便性向上の検討」につきましては、再掲となっております。

次に5ページ、③「外国人労働力受入環境整備の検討」につきましては、外国人採用に係るセミナーや相談会を開催したほか、日本語サロンを開催いたしました。今後におきましては、技能実習制度に代わる育成就労制度などの動向を注視するとともに、企業等のニーズをとらえながら、必要な支援を検討してまいりたいと考えております。

次に「(6) 事業継続への支援」事業継承では、親族間の引継ぎのほか、後継者不在の企業の第三者による事業承継の相談等を随時行ってまいりましたが、今後も第三者への承継も含め、一定の支

援需要が見込まれることから、経営者の意向やニーズを把握しながら、「北海道中小企業総合支援センター」や国が新たに設置した「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し支援を行ってまいります。

また、今後においては、商工会議所で実施しております高校生・大学生を対象とした産学連携事業への継続支援や、国や道と連携した移住支援金事業の継続などを行ってまいりたいと考えております。

次に「(7) 創業・起業等への支援」ですが、石狩市にて創業支援等事業計画を策定し、ワンストップ窓口を開設し、相談者の支援を行っており、近年は相談件数も増加傾向にあります。また、石狩商工会議所が実施している「いしかり創業促進助成金事業」への支援を行うなど、引き続き商工会議所及び商工会と連携し、継続実施したいと考えております。

次に6ページ、施策方針の3つ目「石狩のブランド力向上」として、「(1) 地産地消の推進」ですが、いしかり地産地消の店認証事業による地産地消の取り組みや「石狩鍋」の更なる知名度向上のため、文化庁が実施する「100年フード」へ申請し認定を受けるなど地場産財のPRを行っております。このほか、石狩三大秋祭りなど各種イベントの開催の他、道の駅5周年事業としてイベントを開催し地場産品のPRや販売を行いました。今後においては、市内のみならず、道央圏における地域内流通を促進するため、「道の駅」や「とれのさと」を核とした地場産品販売の取り組みを行っていく必要があると考えております。

次に「(2) 地場産財の知名度向上」

①「地場産財の知名度向上」につきましては、地場産財の知名度向上に向け各種イベントへの出展をはじめ、道の駅を核としたPR活動の実施、ふるさと納税制度を活用した地場産品のPRを実施しております。現在、民間主導の新商品開発は活発に行われていることから、知名度向上やブランド力向上に向けた支援や北海道で行っている「北のハイグレード商品」等の認証制度を活用した知名度向上につなげてまいりたいと考えております。

②「輸出に向けた取組検討」につきまして、石狩市単独での実施ではなく、北海道国際流通機構やさっぽろ連携中枢都市圏の枠組みなどを活用した取り組みを引き続き実施してまいりたいと考えております。

次に7ページ、「(3) 販路拡大への支援」ですが、都庁や近鉄百貨店あべのハルカス本店と連携した地場産材のPR販売を実施したほか、北海道貿易物産振興会が主催する商談会へのサポート、地場産品のブランド力と知名度の向上を目的としたセミナーを開催いたしました。「今後も新たな販路開拓や継続的な出展機会の確保、バイヤー等との関係を構築するため、観光協会や、農協、漁協との連携を行い取り組んでいく必要があると考えております。

次に「(4) 商品開発への支援」につきましては再掲となっております。

次に「(5) ふるさと納税の推進」ですが、年々件数及び金額が増加傾向にあり、それに伴い返礼品として地場産品を提供することにより、PRにもつながっているものと考えております。今後は、新港企業などにある「新たな地場産財」の掘り起こしを行うことが必要であると考えております。

最後に8ページ、施策方針の4つ目「地域コミュニティの活性化」として、「(1) 地域商店街の活性化」ですが、商店街の魅力アップのため、「石狩まちゼミ」を毎年開催しております。「まちゼミ」は、お店の方が講師になってプロならではの専門的な知識や情報、コツなどを受講者に教える講座

であり、店舗にとっては新しいお客様との出会いや同業者同士のつながりが生まれ、結果的に商店街活性化のための効果が期待されているところであり、今後も定着に向けた支援が必要と考えております。また、商店街への新たな購買層として、若年層や新港地域の就業者向けの情報発信及びPR方法の検討が必要であると考えております。

次に「(2) 異業者等の連携」ですが、石狩イコロの会という異業種交流会を定期的を開催しているほか、石狩商工会議所が新港地域の立地企業との交流会などを開催しており、今後もこのような活動への支援が必要であると考えております。

次に「(3) コミュニティビジネスの推進」については、助成金などの活動資金に関わる情報提供や、市民活動情報センター事業として、市民を対象としたまちづくり講演会を実施しており、これらを継続して実施していく予定でございます。

最後に「(4) 地域の買物環境の整備」ですが、現状民間の移動販売や配送サービスが行われており、引き続き地域のニーズの把握に努めてまいりたいと考えております。

長くなりましたが、第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況についての説明は以上となります。私からは以上です。

【北山会長】

ただいま、事務局より第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況について説明がありました。ご意見やご質問がありましたらお願いします。

挙手していただければ、私のほうから指名したいと思います。

(質疑応答)

【玄野委員】

私のほうからよろしいですか。事務局へ質問です。

【北山会長】

はい、玄野委員お願いします。

【玄野委員】

資料3の5ページ目、下段になりますが創業・企業等への支援とありますが、令和4年度は18名相談があつて4名、令和5年度は29名あつて10名が創業につながり、非常に効率的で良いと思いますが、創業にはお金が必要ですから石狩市の融資制度というのは、石狩市に住んでいないとダメですね。

融資の対象物件、札幌や江別とかで創業支援を受けたいとか新しい事業を始めてもいいという制度になっているんですか。それとも石狩市で融資の対象物件とか起業するところが石狩市内でなければだめですよという制度になっているのか、どちらなのでしょう。

【事務局(大川課長)】

玄野委員のご質問についてですが、基本的に石狩市内での起業がメインとなっております。

融資に関しまして、市では創業に関しての融資制度はございませんが、日本政策金融公庫さん等の融資制度を活用していただいております。また、創業支援の相談をいただいて認定を受けることによって、融資などが借りやすくなるような制度を設けさせていただいているところであります。

【玄野委員】

そしたら、そういう相談があっても市には融資制度がないから、政策金融公庫に行きなさいって、そういう風になるんですか。

【事務局（大川課長）】

創業に関しましては、石狩商工会議所と石狩北商工会が窓口になっておりまして、創業の手順などのご相談を受けながら必要な経費や運営方法など、創業の支援を行っており、その中で最終的に資金の話につきましても様々な情報提供をさせていただいているところであります。

【玄野委員】

せっかく石狩市で創業しようって思いを、札幌に行って相談しなければならないことになるわけですからもったいないような気がします。ですから私自身、商工会議所か金融機関なのかわかりませんけれどもそういうのがあってもいいんじゃないかと思います。わかりました。ありがとうございました。もう一点なんですが、資料2「石狩市を取り巻く経済等の概況について」ということで、資料3にまたがるんですが、経済の中心はやはり中小企業・商店街、こういったものをかかせないかと思います。この資料1の11ページを見たら石狩市の小売業の推移、これって立派なもので、私の考えでは少なくともこの資料2に載っていてもいいんじゃないかというような気がします、よくわかりませんが、少なくとも海水浴の入込状況とかよりも商店街の推移のほうが大事なような気がします私の考えが間違ってるのかもしれませんが、参考にさせていただければと思います。

【事務局（大川課長）】

貴重なご意見ありがとうございます。

今回この概況については、あくまで今回の会議に対して話題提供という形で作らせていただいているものでして、実際にこの資料1の活性化計画が本来の内容となっております。

こちらについては新しいデータが出来次第、改めてお示し出来ればと思います。また、本計画は10年計画であることから、最新のデータについては、タイムラグがありますので、次回以降に、最新のデータがありましたらご提供させていただきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

【北山会長】

今後の推移を見て、この本編のほうにスポットとして載せるかどうか、今後検討していくということですね。

それから、先程石狩に住んでいて、例えば札幌で事業所構えている場合、札幌の会議所でも支援することになっていて、創業する場合は、最終的に融資の問題がありますので、石狩市や北区、東区などでご商売を行っている方の、7、8割は日本政策金融公庫札幌北支店を利用されて融資を受け

られているケースがかなり多いです。

【玄野委員】

だけど札幌になかったらダメなんですよ。

【北山会長】

そういう場合は石狩商工会議所で相談し、いずれにしても石狩には金融公庫がないですから、札幌北支店が統括してます。

【玄野委員】

ですから、市なり商工会議所にそういう創業者に向けた融資制度があればと思います。

【林委員】

創業者の方が金融機関を訪れるケースもありまして、事業を立ち上げようとしている人が、石狩市在住であって、当然商売のほとんどは札幌であったり、そういったケースというのもあります。

会社を立ち上げて株式会社あるいは有限会社を立ち上げてやられるというケースもありまして、それが登記上石狩市を登記しているのであれば、信用金庫だったら窓口でも相談可能だと思いますし、北洋さん、道銀さんも支店がそれぞれあるので、石狩の方は石狩の支店で相談受付という形になると思いますし、逆に札幌を主流にして展開するということであれば、やはり近くの支店で申込みや相談を受けていることが多くなっております。

札幌市内で事業を本格的に展開する方で、石狩に縁のない人であれば、近くの支店を紹介しますが、石狩の方から相談いただいた場合には、その状況に応じて、わざわざ札幌に行かなくても、石狩で対応することは可能だと思います。

【玄野委員】

それは制度面だとか金利とか融資の条件なども日本金融公庫に引けを取らない内容なのか。

【林委員】

照らし合わせてはいませんが、決して負けてはいないと思います。大丈夫だと思います。

【玄野委員】

それは北海道信金さんのプロパーの支援があるんですね。

【林委員】

それぞれ審査の対象の方がいらっしゃるんで、資金が用意されて担保があるなどのケースであれば、希望どおりの形ケースというのは非常に多いと思いますが、例えば全く何もない状態でいきなり創業したいということで、お見えになられても、100パーセント満足のいく回答をできない場合があり、金融機関のほうではどういう状況になったら借入までこぎつけることができるだろう

かということで、借りる方向性の相談窓口には積極的になれると思いますので、相談に来られたら、当然のことながら対応していきたいと思っております。

【北山会長】

ほかにご質問、ご意見ございませんか。

ないようですので、以上で議題についての質問は終わります。

続きまして全体的にとおして何か発言がございましたら挙手をして発言していただきたいと思えます。

特に発言がないようですので、これから若干時間がございしますので、皆様の所属されている組織とか、団体の現状や新たな取り組みについて、それぞれ簡単にご報告いただければと思います。

それでは、石狩商工会議所の鈴木さんの方から、順番にお願いします。

【鈴木委員】

みなさんこんにちは。石狩商工会議所の鈴木圭一と申します。

商工会議所では、地域の商工業活性化、経済活性化ということで動いております。メインはやはり今活発なのは洋上風力、データセンター、エネルギー関係、ここがやはり一番大きいところですが、根本となる商店街や地場企業の盛り上げというか、まちゼミも含め、各商店街の動き、先ほど融資のお話がありましたけれども、融資だけではなくて、創業するためのセミナーを開催したり、あとは相談ですね。私も今、「イシカン」という会社は2020年に立ち上げたんですけども、その時私も商工会議所に相談に行って、創業支援という形で補助金のときに少しベースアップしてもらえとか、事業計画を書くためのベースを相談しながら派遣していただくとかということをやりましたし、今もそれは継続されて続けております。

今後やっぱり石狩の循環と言うんですか、経済の循環、商工業だけではなくて、一次産業・二次産業・三次産業全てなんですけども、全てどこかにつながっていくということで、自分の話ばかりで申し訳ないですけど、缶詰であれば一次産業の方にお魚を取っていただいたものを二次加工して、三次でサービス業として売る、全部関わってきます。こういうことを、皆さんと協力しながら、もともと練って石狩の産業、経済を活性化できればと思っております。以上でございます。

【北山会長】

ありがとうございます。

続きまして、観光協会の高梨さんお願いします。

【高梨委員】

石狩観光協会の高梨です。よろしくお願いします。

せっかくこの資料にもありましたので、石狩のブランド力向上のなかで、石狩三大秋祭りがちょ

うど今開催中で二つ終わってしまったのですが、浜益から始まりまして、昨日、第49回厚田ふるさとあきあじ祭りが盛況の下で終わりました、今年は天候にも恵まれて、過去で一番入ったのではないかなと思います。中井さんもいらっしゃるのですが、9月当初、中々サケも獲れなくて、祭りの開催もどうなっていくのか、最近の報道関係でも、サケが取れないことに対してのネタばかり探してですね、今日も来てたんですけども、祭りが開催されるのですかっていうお話もあったんですけど、先週ぐらいから漁組さんから連絡いただきまして、かなりの数が獲れていて、サケの掘み取りや即売会の方も安心して下さいという連絡を受けており、なんとか最後に石狩三大祭りの最後を飾る石狩さけまつりが無事に開催できるのではないかなと思って進めております。

また、事務局からもありました100年フードの部分でいきますと、浜益では今回、石狩鍋は出せなかったんですけども厚田では石狩鍋を出せて、さけまつりのほうでは千人鍋を2日間「あき味の会」の店舗の方にそれぞれの味を出していただくということで、28日土曜日は「ひだか」さん、2日目29日は「升屋」さんの石狩鍋で、この石狩鍋を新たにPRできればなと思っております。今後、さけまつりが終わりましたら10月頃から、首都圏でのPRも始まってきますので、皆さん一丸となりまして石狩市をPRしていければなと思っております。以上です。

【北山会長】

ありがとうございます。

続きまして、金融協会の林さんお願いします。

【林委員】

私のほうから、最近お客さんのところに行ったり、話を聞くことで、会社関係で特によく声が聞こえてくるのが、1番目にあるのが今、人手不足だということで非常に人が足りていない、募集をかけても人が来ないという状況にありまして、中々人繰りが大変なんだろうなという思いがしています。当金庫でも、毎年、大卒・高卒を採用しているんですが、辞める人の数のほうが多くて、どんどん人員が減っていつている状況です。今回、11月1日に花川南出張所が閉鎖してしまって、石狩支店のほうに入ってしまうのですが、人員が膨らんでいく状況であれば、こういう状況には陥らなかったのではないかなと思っています。今一番課題となっているのは、どこの会社企業においても人手不足というのがやはり一番かなというところで、2番目に出てくるのが、燃料費高騰あるいは物価高騰、資材関係ですね。やはり中々物価高に対応できていない、収益力がちょっと弱まっているという状況にあります。

この2点が、会社が今背負っている課題ではないかなと思っております。

ただ、コロナが明けて今だんだんと石狩市は洋上風力など、これからどんどん栄えてくる要素が含まれていますので、昔から石狩市といえば、石狩鍋などそういったいい伝統というか、いろんな資源がたくさんあるので、活用の仕方によっては、どんどん栄えていくのではないかなという感じがしています。

北海道の中ではやはり今、石狩の勢いがいいのと、次いでニセコだとか、石狩は3本指には入るのではないかなと私は思っていますので、これから楽しい場所ではないかなと思っています。

余談になりますが、うちの金庫のほうで新港地区だとか、その土地が空いていないかどうかとい

う問い合わせを結構受けます。

そして、石狩開発さんと話しをさせていただいて、色々とパイプ役みたいな感じで動いているような状況ですので、それだけ市外の産業の方も、石狩市のそういう地盤もそうですけど、入り込みたいと考えている企業も多いと思いますので、本当にそういったことで、我々も支援していければいいなとは思っています。一応情報までということで。

【北山会長】

ありがとうございました。

続きまして、農協の橋本さんお願いします。

【橋本委員】

JA さっぽろの橋本と申します。よろしくお願いいたします。

札幌なんですけども、皆さんご存知だと思うんですが、昨年10月にですね、旧 JA いしかりと JA さっぽろが合併いたしまして、札幌市農協という形で昨年10月から新たにスタートしております。

私はこちらの旧 JA いしかり地区の販売部長を担当しております、主にこちら純農村地帯ということでもありますので、農協ですから農業者の支援ということで事業活動を主に行っております。

また、石狩市農業総合支援センター、これは石狩市、当組合、農業委員会それからお隣の北石狩農協さんで構成する任意団体ですけどもこちらのほうで新規就農者の支援ということでですね、市のご尽力も多大にいただきながら、毎年2名から3名ミニトマトの施設園芸ということで、着実に新規就農者を定着化させてきているような形になってございます。

皆さん、ご承知のところだと思うんですが、米の関係ですね、消費者の皆さんに米が行き届いていない状況ですが、ちょうど今新米の収穫時期に入っていて、一部新米が出てきているような状況であります。

また、「とれのさと」のほうで、10月の5日・6日に新米フェアということで、地域の皆さんにやっと販売ができるのかなという風に思っております。価格は去年から2倍弱の金額で今店頭に並んでるところですが、直売所ならではの値ごろ感とですね、地域住民の皆さんにぜひとも石狩産米をたくさん食べてほしいということで、フェアを取り進めているというような状況でございます。簡単ですけども、今の事業、今後のイベント等々というところでは、以上です。

【北山会長】

ありがとうございました。

続きまして、石狩湾漁協の中井さんお願いします。

【中井委員】

皆さんのお世話になっております。厚田から来ました中井です。

自分のところの商売はホタテの養殖業をしまして、5月にタネ取りをして8月からそのタネを揚げまして、今その分散をしているところです。

今は本分散と言って、2回目の分散をしていて朝の1時からやっています。

今年は石狩湾のホタテはタネがつかなくて、少ない貝の中から生きたものを選びながらも厳選しながら落ちたものは必ず1枚でも拾うという試みで、夜中の1時から一生懸命今日もやって来ました。水温の関係だと思いますが、自然には勝てないので、暖かいときにはあまり触らないようにして、夜中の水温の低いときに手をかけるとか、そんな感じでやっています。なるべく生きたものを1枚でも多く育てていって、これから秋になって、越冬して春にはオホーツクに行くので、1枚でも多く出荷できるように努力をしているところです。

サケのほうなんですけど、先ほどおっしゃってくれてたように、だんだん獲れてきているという情報があります。うちの漁場は石狩近くにあるのですが、川と離れているので、少ないかなって感じます。今の状況的には、オスよりメスが少なく、値段はメスのほうが高くて、ちょっと売りづらいかなって感じで、消費者の皆さんには申し訳ないんですけど、9月、10月頑張っていきたいと思っています。

【北山会長】

ありがとうございました。

最後に、石狩北商工会の小山さんお願いします。

【小山委員】

いつもお世話になっております。石狩北商工会の小山と申します。

昨年も申し上げましたとおり、石狩北商工会は、商店街の主人たちが皆さん高齢で、店を閉じたりすることが多くて商工会の会員がすこぶる減少しております。

将来的には商工会議所と話し合いをしまして、合併という形になると思いますが、まだ先であると会長に聞いておりました。自ずと女性部も少ないのですが、先週の日曜日には、浜益のふるさと祭りで、例年ですとサケ鍋を8鍋くらい提供していましたが、お手伝いいただける方が高齢ということで、今年は泣く泣くサケ鍋を断念しまして他の物を提供させていただきました。やっぱり商店が閉まるということは女性部のお母さん方も少なくなるってことで切実な問題です。厚田はですね、ほとんど商店街が機能していないというか、そんな感じなんで本当に寂しいんです。ですから、昨日のあきあじ祭りは、商工会ではなくて「厚田こだわり隊」で参加させていただきました。

それから、この政策の中の、インターン事業では毎年、道外の学生さん、今年は北大の学生さんも来ましたが、キャンプ場や海浜プールなど、夏場の8月の1ヶ月ですから、人手の足りないところに入ってもらって、お手伝いをするという形で、最終的には発表会と形になるものを残していってくれるという感じですね。石狩北商工会も窓口になっているものですから、宿泊先の部屋が暑いことがあり、臨時の冷房設備を提供させていただくなど、会員の人数は少なくなっていますが、陰ながら協力させていただいております。以上です。

【北山会長】

大変貴重な情報ありがとうございました。

それでは本日の議事につきましては終了としまして、この後の進行を事務局に渡したいと思えます。円滑な議事進行にご協力を頂き、ありがとうございました。

【事務局（大川課長）】

北山会長ありがとうございました。また、委員の皆様にもご議論を頂きましてありがとうございました。

最後に「5. その他」ということで、事務局より2点ほどご連絡がございます。

1点目、本日の会議出席に係る報酬及び交通費の支給の関係ですが、ご辞退頂いている方以外には後日、所定の金額をご指定の口座にお振込みをさせていただきます。

当審議会の次回のスケジュールについてですが、現時点では予定している案件はございませんので、今後、案件がありましたらご案内させていただきます。事務局からは以上です。

【北山会長】

それでは以上をもちまして、令和6年度第1回石狩市地場企業等活性化審議会を閉会致します。本日はどうもありがとうございました。

=====

令和 6 年 10 月 11 日 議事録確定

石狩市地場企業等活性化

審議会

会 長 北 山 肇